



令和4年度 学校だより
平 山
南種子町立平山小学校

令和4年12月21日発行
第9号

Tel:0997-26-7001

Fax:0997-26-7234

Email m-hirayama@tulip.ocn.ne.jp



「特別支援教育」～配慮や思いやりが必要な教育～に対する理解を！

校長 雨田 まゆみ



特別支援教育と聞くと、「特別な場」「特別なこと」という印象をもってしま
うのではないのでしょうか。しかし、誰でも得意・苦手があり、凸凹はあって当たり
前です。

学校では、いろいろな個性ある子供たちをお預かりしています。子供たちは、性格、興味関心、
得意なことや苦手なこと、学び方、感じ方、成長のスピードなど、一人一人違います。

また、心身の成長・発達や先天的・後天的な症状等により、他の子供たちと同じペースや一斉
指導の授業では理解が困難な子供もいます。(国の調査によると、全体の約6.5%の児童生徒
には何らかの支援が必要な子供もいるそうです。発明王エジソン、物理学者アンシュタインは、子
供の頃学校生活になじめず、母親が家庭での教育を行ったのは有名な話です。)

しかし・・・その大切な個性も、成長過程で学習、対人関係、生活などで上手いかなかったり、
悩んだりすることもあると思います。これは、誰にでもあり得ることではないのでしょうか。今は大丈
夫と想着いても、これからの思春期でつまづくケースや、今は困っていてもやがて落ち着くケ
ースもあります。どのように成長するか・・・どのようなことでもつまづくかは、様々で予測が立ちませ
ん。もちろん、子供自身が自分で解決したり乗り越えたりすることもあると思います。一方、なかなか
改善されずに子供の困り感が長く続いてしまうと、「どうせ自分は・・・」と自信や意欲をなくし
てしまうことがあります。これは、子供の成長に大きな影響を及ぼします。

周りが、支援の仕方を工夫したり、悩みに寄り添ったりするだけでも、子供はやる気が高まったり
、対応することができたりします。具体的な支援と同様に、「つらかったね」「私もできなかった
よ」など子供の話を聞く、つまり、共感してくれる人「共感」こそが応援そのものになっているので
す。

そもそも、子供は成長したいというエネルギーに溢れています。子供の可能性や能力、個性を
発揮し、自信や意欲を高めて学習や生活ができるよう、家庭、地域、学校が連携してサポートして
いくことが大切になります。同時に、苦手なことがあったり、困っていたり、悩んでいたりする友達
に対して、周りの子供たちはどのように感じて関わっていくかが、特別支援教育の大切な役割で
す。

「特別支援教育・・・うちには関係ないかも・・・」ではなく、成長の過程にある全
ての子供たちにとって必要なことです。

学習、生活、友達関係、情緒面等、気になることがありましたらお気軽に相談して
ください。必要に応じて校内で連携をとり、具体的な対応に取り組んでまいります。



令和4年も残り10日となりました。今年も学校への御理解・御協力をいただき、あり
がとうございました。

校 訓 「かしこく あたたかく つよく」

持久走大会 12/1

「持久走大会」が行われました。当日は、気温が低く寒い中での開催となりましたが、見事に4人が大会新記録を出すことができました。おめでとう。また、全員が、自分の自己新記録を目指して完走することができました。沿道からは、保護者の皆様の声援だけでなく、地域の方々の声援も力となりました。ありがとうございました。



わいわいトーク（人権教室） 12/10

全校児童でわいわいトーク（人権教室）をしました。「友達のキラリ」として、友達のいいところをカードに書き、渡しました。渡されたカードを見て、友達のいいところだけでなく、自分にもたくさんのいいところがあることに気付くことができました。



芸術鑑賞会 12/15

劇団四季「人間になりたがった猫」の動画を体育館に全校児童集まり、視聴しました。大きなスクリーンと音響に迫力の体験をしまし満点。魔法によって人間の姿に変えられた。農協、花農家、た猫。人間と出会い、人間の素晴らしさ、花屋の皆様のおかげでそれぞれ個性

花とのふれあい事業 12/22

5・6年生がフラワーアレンジメントの体験をしまし満点。農協、花農家、花屋の皆様のおかげでそれぞれ個性のある作品を仕上げることができました。御協力ありがとうございました。



1月の主な行事

- 9日（日） 人権・いじめ問題を考える週間
- ～15日 歯ッピータイムウィーク
- 10日（月） 始業式，集団下校
- 16日（月） 家庭学習強調週間
- 17日（火） 鹿児島学習定着度調査(国・理)
- 18日（水） 鹿児島学習定着度調査(社・算)
- 19日（木） 不審者対応訓練
- 24日（火） 租税教室

2月の主な行事

- 2日（木） 交流学习・中学校入学説明会
- 7日（火） わいわいトーク(人権教室)
- 9日（木） 避難訓練
- 10日（金） なわとび大会
- 16日（木） 集合学習（3・4年）
- 17日（金） 集合学習（1・2年）
- 21日（火） クラブ（2年生見学）

1月の主な目標

生活目標	身の回りを整えよう	給食目標	感謝して食事をしよう
保健目標	かぜの予防をしよう	人権標語 (12・1月)	一言で命をうばう時がある (長田優里, 海空, 優海ファミリー)

2学期学校評価

2学期の学校評価がありました。評価が低かった内容を抜粋し、お知らせします。

【保護者の評価】

○「親子で家庭読書に取り組んでいますか。」については、1学期と比べ落ち込んでいました。家庭読書の大切さを、家庭教育学級や全体PTAを通して知らせていきたいと思います。

○「家庭学習のきまり」に示された時間、勉強をしていますか。」

○「家庭でメディアを使用する時間を決めて見えていますか。」

○「家族でゲームをする時間を決めて遊んでいますか。」

この3つの項目は、1学期と比べ落ち込んでいる内容や1学期から引き続き評価の悪い内容になります。テレビやゲームの時間は長く、家庭学習の時間は短いようです。家庭での生活リズムもあると思いますが、学校と家庭の連携も必要のようです。本校のこだわりの視点には、「自主学習の習慣化」があります。こだわりの視点と上手く連動できるように子供たちに働きかけていきたいと思います。

【児童の評価】

○「気持ちのよいあいさつを語先後礼でしていますか。」は、子どもたち自身があまりよくできていないと評価していました。家庭や学校はもちろんですが、地域の皆様も子供たちが気持ちのよいあいさつができているか、見届けてください。

※ 家庭でも学校でも、子供に対する思いや願いがあります。しかし、子供たちは思っているように育つわけではありません。そこで、見つめ直していくことは大切なことです。学校評価をすることによって、今の現状を見つめ直し、改善できるところは、改善していきましょう。しかし、すぐに改善できることもあります。平山小の子供たちのためにこれからも、学校と家庭、そして地域が一体となって子供たちを温かく見つめていただきたいと思います。

12月2日(金)南日本新聞
子供のうた掲載

12月13日(火)南日本新聞
11月の若い目賞 受賞

たくさん走れ
風で車を走らせた
バインダー
ねん土ばん
いろいろな道具
風をたくさんおくって

車がどんどんすすむ
いっぱい走れ
たくさん走れ
わたしの楽しい車
(南種子町平山小3年)

西田 莉乃愛

11月の若い目賞

柳迫小学校(曾於市)
平山小学校(南種子町)
賞は投稿や採用の数ではなく、作文の
内容や取り組みの継続性などを、南日本
新聞社読者センターのひろば担当が総
合的に判断しました。「若い目特集」で
月1回発表します。